



一番茶後は樹勢回復を重点に！

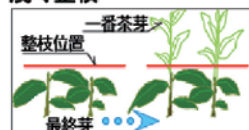
茶



農業経営支援課
福手 裕三

《一番茶後の整枝》
一番茶後の整枝は、**摘採後10日程度**おいてから行いましょう。整枝時期が早すぎると遅れ芽が再発して、二度手間になってしまいます。逆に遅すぎると二番茶芽をカットしてしまい、二番茶の摘採の遅れや減収につながります。ただし、一番茶を早期に摘採した茶園や凍霜害を受けた茶園では、遅れ芽が多く発生時期が不揃いになるので、遅れ芽が出揃った**摘採後14日頃**に整枝してください。整枝の深さは、遅れ芽を取り除く程度に浅く摘採面を整えましょう。

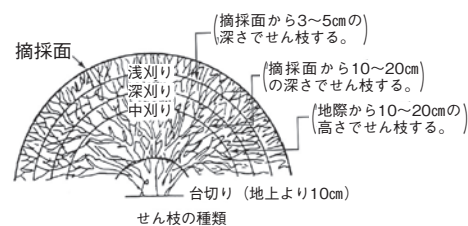
浅く整枝



深く整枝



《更新》
摘採面の枝が細く、芽数が多くなりすぎた茶園は、一番茶後に更新しましょう。(1)浅刈りは古葉が少し残る摘採面より3〜5cm程度の深さでせん枝します。二番茶が一週間遅れ程度で摘採できます。(2)深刈りは、摘採面より10〜20cmくらい下でせん枝します。(3)中刈りは地際10〜20cmの高さでせん枝します。茶園巡回で感じることは、更新位置が中途半端の深さで充分な



更新効果が出ていない茶園が多いことです。個々の経営面積を考慮に入れ、計画的に早めに更新し、樹勢のある茶園をつくりましょう。
《病害虫防除》
今月は、多くの病害虫が発生します。特にウンカ・スリップス・炭疽病・もち病は、二番茶芽の萌芽から生育期にかけて加害や感染する恐れがあるため、注意が必要です。各地域で防除情報を出しておりますので、確認し対応しましょう。
《最後に!!》
茶の販売状況は、近年になく大変厳しい状況かと思えます。茶商の在庫状況や上級茶の荷動きの緩慢さから、今まで以上に買い渋りが目立ちます。一番茶を乗り切るために、高品質なお茶を製造し、欠点茶は絶対に製造しないよう心掛けましょう。